



21 December 2022

リリースノート

# AtomOS 10.84.00

## Ninja V+

---

### 重要：

---

本アップデートで実装された AtomRemote アプリによる操作は、ATOMOS CONNECT または、AtomX SYNC モジュールと、Apple iOS デバイスまたは、Mac が必要です。

#### Atom Remote のダウンロード (無料)

App Store で AtomRemote を検索するか、[こちらのリンク](#)からダウンロードするか、QR コードを読み取ってください。



### インストール時の手順：

---

ATOMOS では Ninja V+ を主電源に接続し、ファームウェアのアップデートを行うことを推奨しています。

1. フォーマットされた対応 SSD をドッキングステーションに挿し込んでください。
  2. ダウンロードしたファイルを解凍し、ATOMNJP.FW を SSD のルートにコピーしてください。
  3. SSD をドッキングステーションから抜いてください。(OS のガイドラインに従います)
  4. Ninja V+ に SSD を挿し込んでください。
  5. Atomos Connect をお持ちの方は、モジュールのファームウェアアップデートをする必要がありますので、電源投入前にモジュールが Ninja V+ に接続されていることをご確認ください
  6. Ninja V+ の電源を入れると、自動的にファームウェアのアップデートが開始されます。
  7. Ninja V+ の電源が既にオンになっている場合は、新しいファームウェアを含む SSD を挿入すると、ファームウェアの更新を実行するよう促されます
  8. アップデートが完了すると、Ninja V+ の電源がオフになります。
  9. Ninja V+ の電源を入れると、Ninja V+ が Atomos Connect のアップデートを開始します。
  10. ファームウェアのバージョンを確認します。(menu>info tab)
-

**注意：** Ninja V+ にファームウェア 10.84.00 が正常にインストールされると、ATOMOS CONNECT のファームウェアを更新するために本体が再起動されます。ファームウェアのインストール中は電源を切らないでください。

## 新機能：

---

### AtomRemote アプリが ATOMOS CONNECT に対応

録画・再生機能のリモート操作や、フォーカスピーキング、1:1 ズーム、フレームガイド、波形などのオンスクリーンツールの On/Off がリモートで可能です。

#### 基本設定方法

- AtomRemote を起動し、コントロールしたいデバイスとして、Ninja/CONNECT を選択します。
- 対応する iOS/macOS デバイスの Bluetooth を有効にして、NinjaV+ とペアリングを行います。
- Ninja V+ で、上部情報バーをタップしメニューを表示させ、Sync Config メニューを選択します。
- その中の、Bluetooth セクションの Pair をタップし、Ninja V+ をペアリングモードにします。
- Ninja V+ と AtomRemote アプリのペアリング ID を比較し、コードが同じ場合ペアリングを進めます。
- ペアリングに成功したら、Ninja V+ のメイン画面左にある丸く青い Remote アイコンを押します。
- これで、AtomRemote アプリから Ninja V+ の操作が可能になります。

**注意：** リモートモードがアクティブの時は、Ninja V+ のタッチスクリーンを操作することはできません。AtomRemote アプリの詳細なチュートリアルは、[当社 YouTube チャンネルにあるセットアップガイド](#)をご覧ください。ビデオでは、AtomX SYNC モジュールでのセットアップを紹介しておりますが、ATOMOS CONNECT でも同様の手順で行うことができます。

## H.265 オプションの機能追加

**H.265 XQ は、ATOMOS デバイスでの HEVC 録画において、最高レベルの品質を提供します。**

- UHD 50/60 で最大 300Mb/s まで
- 10bit または 8bit が選択可能
- 4:2:2 サブサンプリング対応
- All -intra 圧縮

H.265 XQ の詳細と、サポートされている全ての解像度 / フレームレートの組み合わせの仕様は、FAQ にある [H.265 ターゲットデータレートテーブル](#)をご覧ください。

## バグ修正と改善点：

---

- H.265 コーデックで録画中にデバイスがフリーズしたり、応答しなくなる問題を解決しました。
- CtoC プロキシとライブストリームが脈打つイメージとして表現されるアーティファクトを表示してしまう原因となるエンコーディングの問題を解決しました。
- SSID にアポストロフィーや、その他の特殊文字が含まれる iOS WiFi スポットに Ninja V+ が接続できない問題を解決しました。

## 今後のリリースで修正予定の既知の制限事項：

---

- 録画 / 再生モードを切り替える際、Wi-Fi とイーサネットの再接続に最大 10 秒かかることがあります。システムが自動的にネットワークに再接続するのに時間が掛かりますので少々お待ちください。
- Wi-Fi の有効化が断続的に行われることがあります。システムの再起動を促すダイアログメッセージが表示されることがあります。
- X-H2 から ProRes RAW を記録すると、フレーム右端に 36px の太い黒い線が入ることがあります。
- **Ninja V+ と Nikon Z 9 カメラ、ZOOM オーディオ レコーダー、TASCAM オーディオ レコーダーを AirGlu BT 経由でペアリングすることは、現時点ではサポートされていません。**  
現在パートナーと協力して、実装できるよう開発中です。  
現状、iOS アプリの UltraSync Blue Slate、Mavis Pro Camera、MetaRecorder とのペアリングは可能です。  
**注意：** ATOMOS CONNECT アクセサリを搭載した Ninja V+ は、Bluetooth 経由で一度に 1 台のデバイスとしかペアリングできません。
- AtomX SYNC Module または ATOMOS CONNECT アクセサリーを使用し、記録フォーマットに H.265 を選択した場合、ネットワーク記録制御は使用できません。
- ストリーミングは、標準的な YCC422 ビデオ入力を使用し、記録コーデックが ProRes または、DNx に設定されている場合のみ利用可能です。ProResRAW または H.265 を選択されている場合、ライブストリーミングはできません。
- YCC SDI 入力 で ProResRAW 録画モードで起動した場合、モニタリング映像が正しく表示されないことがあります。ProResRAW モードで Ninja V+ に RAW 信号を出力しながらのモニタリングと録画時は、正しく動作します。
- HDMI Compatibility モードを選択した状態で、異なるカメラモデルを接続する場合は、新しいカメラを接続する前に必ず Ninja V+ を再起動してください。